

## 実験レポート チェックシート

氏名：

学生番号：

### 1. 表紙・全体

- ☐ 1-1 表紙に題、日付、氏名、グループ名、メンバー氏名を書く。
- ☐ 1-2 ページ番号を付ける。

### 2. 目的・方法

- ☐ 2-1 課題の目的と方法を記述する。
- ☐ 2-2 方法の説明は、自分が実行した方法を他人がそのまま再現できるように手順の詳細を記述する。
- ☐ 2-3 なぜ、そのような方法にしたのか、そのような方法でよいのか、理由を述べる。
- ☐ 2-4 計算式については、それぞれの変数何を表しているのか、必ず説明する。
- ☐ 2-5 プログラムにおいて自分が独自に設定した数値について、なぜその値なのかを説明する。
- ☐ 2-6 ソースコード全部をレポートに入れなくてよい。必要な箇所のみを抜粋して示し、示した箇所を必ず説明する。
- ☐ 2-7 その他

### 3. 図・表

- ☐ 3-1 適宜、図を使って説明する。
- ☐ 3-2 図題は図の下、表題は表の上に書く。
- ☐ 3-3 図題や表題には、単純な名称だけでなく、図や表の見方に関する「説明文」を書く。
- ☐ 3-4 図や表には必ず番号を付ける。
- ☐ 3-5 示した図は本文中で図番号で参照し、必ず本文の説明に利用する。
- ☐ 3-6 グラフの縦軸・横軸に名称を付け、表している値と単位を記す。
- ☐ 3-7 十分に読める大きさと文字や記号を記す。色を利用する必要性も含め、配色に配慮する。
- ☐ 3-8 その他

### 4. 結果

- ☐ 4-1 数値には単位を付ける。
- ☐ 4-2 表やグラフで可視化する。
- ☐ 4-3 同じ実験操作を繰り返して、どの程度同じ数値が得られるのか。平均値、ばらつきを表す標準偏差等を示す。
- ☐ 4-4 結果の数値は有効な桁のみ記すこと。報告書の読者は、記載された数値がすべて有効数字であると解釈する。
- ☐ 4-5 当たり前のように思えることでも説明する。自分の意図どおりに結果や図・表を解釈してもらえるとは限らない。
- ☐ 4-6 その他

### 5. 考察

- ☐ 5-1 どの結果について述べているのか。図や表の番号を参照し、図や表を使って説明する。
- ☐ 5-2 なぜ、その結果になったと考えられるのか。理由や、それが理由であると言える理由を述べる。
- ☐ 5-3 どのような条件の下で、その考察が成り立つと考えられるか。前提、範囲を述べる。
- ☐ 5-4 予想した結果と比べて、どの程度近い・遠い結果なのか、定量的に説明する。
- ☐ 5-5 「良い結果が得られた」「上手くできた」「思った通りの結果だった」「成功・失敗した」は感想であり、考察ではない。
- ☐ 5-6 「大きい・小さい」「多い・少ない」「高い・低い」のような表現をするときは、基準を示す。「〇〇より大きい」等。
- ☐ 5-7 その他：

### 6. 資料・文献

- ☐ 6-1 信頼性の高い参考資料や文献を積極的に探し、番号付きのリストにする。
- ☐ 6-2 リストには「文献の著者、タイトル、発行元、ページ番号、年」等の書誌情報を記載する。URLのみは書誌情報ではない。
- ☐ 6-3 文献を参考にして述べている本文の箇所に、文献の番号を挿入する。
- ☐ 6-4 又聞き情報のブログ記事等の引用を避け、原著に相当する情報源を確認する。
- ☐ 6-5 他人のレポートを転記しない。
- ☐ 6-6 その他